

あれよという間に年末が来てしまいました。これを書いているのはもう最終週です。「夏休みの宿題は31日にやる」という基本スタイルはなかなか抜けません。

さて、「年末に相応しいネタがないか」と鵜の目鷹の目でおりましたが、特に何もありません。病院はいつも同じ調子で動きます。そうではない診療科もあるのでしょうかけれども、この30何年間で年末年始に病院へ行かなかった年は、留学中以外ないかもしれません。

それはさておき、ネタなしではまずいので話題を探してみました。

「年末にはちょっとおいしいごはんを」という気持ちもありますが、このご時世、病院関係者としてはそう簡単に出かけられません。加えて少しでも安全を守るため、最新のワクチンを接種して免疫をつけております。

忘年会や外食のためではありませんが、12月に入ってようやく当院でもBA.4-5、2価ワクチンの接種が始まりました。今回のワクチンは以前より副反応がちょっと多いという話も聞きます。そのため、翌日が休みである金曜日に接種希望が集まります。

問診医は病院幹部医師で対応していたのですが、とても手が足りないので、研修医の先生にも手伝ってもらいました。思い返せば、最初のワクチン接種時も手伝ってもらっていました。その頃はどのような副反応が起こるか全くわからず、随分と人員や機材を用意をしましたが、4,5回目の接種となると、ほっぼらかしに近い状態でした。熱が出る人、出ない人、それぞれでしたが、みなさんはどうでした？

幸いにも、当院はクラスターをほぼ出すことなく、今年の業務を終ることができそうです。

接種会場ではこんな感じで膝突き合わせてやっています。お手伝いありがとね。

